

# 親子の命を守るために

## こそだてシップが防災講演会

大船渡

大船渡市のNPO法人こそだてシップ（伊藤怜子理事長）は6月30日、盛駅のシーパル大船渡で「子育て世代と支援者のための防災講演会」を開いた。地域の子育て支援関係者や親子が参加し、子どもと親自身の命を守るための防災について考えを深めた。

講演会は、東日本大震災の教訓を生かし、子どもを守るための備えを学ぶとともに、防災に対する意識を高め

るもの。市社協が共催した。この日は40人余りが参加。新潟県長岡市助産師会の小林美代子会



小林会長（奥）が災害への備えについて講演

長による講演のあと、伊藤理事長らによる体験発表やグループワークが行われた。

このうち、小林会長は「子育て世代の災害への備えについて」と題し、災害から命を守るための日々の備えについて語った。

この中で、小林会長はラジオやテレビなど、有事の際に情報を得るためのツールの種類や扱い方を紹介したほか、家族で避難行動について話し合うことの大切さについて強調。避難所生活などで役立つ常備品のことも触れながら、「自分の命は自分で守る。主体性をもって考え行動するという意識を持つて」と呼びかけた。